

ひとよし 市議会だより

第120号



2024 / 令和6年5月1日 発行



4月6日待ちに待った清流コースが再開されました（球磨川くだり）

主な内容

②～④ 3月定例会・臨時会報告
委員会報告

⑤～⑦ 一般質問～市政を問う～

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市西間下町字永溝7番地1

☎ 0966-22-2111 (代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>



3月定例会報告

令和6年3月第2回定例会は2月26日から3月22日までの26日間開催されました。

令和6年度 一般会計予算
216億1,188万1千円 可決
(前年度比 11億9,595万8千円の増)

令和6年度
一般会計予算の主なもの

人事案件

- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任に同意した方
福山 誠二 氏
- ◎固定資産評価委員の選任に同意した方
小林 敏郎 氏
- ◎公平委員会委員の選任に同意した方
中村 明公 氏
- ◎副市長の選任に同意した方
小林 敏郎 氏

子ども・子育て新支援事業
(保育所及び認定子ども園運営費)
16億1,818万2千円



災害公営住宅整備事業
(住宅購入)
18億1,300万円

被災市街地復興推進事業
(中心市街地地区及び青井地区)
11億9,809万2千円

負担金関係
○人吉球磨広域行政組合負担金
(し尿・ごみ処理施設・葬斎場)
5億2,470万2千円

○人吉下球磨消防組合負担金
4億3,981万2千円

くま川鉄道経営安定化補助金
(災害復旧分)
8,947万6千円

1月臨時会報告

令和6年1月31日の臨時会では、国のデジタル完全脱却のための総合経済対策による低所得者支援に伴うものの追加補正予算が提出されました。内容は、住民税均等割のみの課税世帯への給付金及び低所得者の子育て世帯への加算給付に対する事業費の増額などで、原案可決しました。



議会でタブレット端末を導入

議会活動をより充実させていくため、また省資源化(ペーパーレス)等のために、議会のデジタル化を進め、令和6年3月定例会からタブレット端末を導入しました。初回の3月定例会では、紙の資料とタブレット端末を併用しましたが、次の定例会や会議からは、原則全てタブレット端末のみを使用し、完全ペーパーレスとなります。議会だよりを作成する「議会報編集委員会」でも、今回から紙の原稿配付を行わず、タブレット端末を使用しました。



総務文教委員会報告

- 委員長 松村 太
- 副委員長 池田 芳隆
- 委員 川上 紗智子・平田 清吉・豊永 貞夫・宮原 将志

コミュニティセンター・公民館等8件の条例案を承認

人吉市西瀬校区公民館の移転新築に伴い、位置を「人吉市下戸越町1678番地1」に変更し、「冷暖房料」等を新設するものなどです。



移転新築された西瀬コミュニティセンター

令和5年度一般会計補正予算を承認

大規模被災地区住まい再建移転促進事業交付金は、大柿地区からの移転に際し住まい再建を支援する交付金です。委員から「交付金の申請件数は何件だったのか」との質疑に対して、「令和5年度の予算部分では、新築が2件、改修増築が1件あった」との答弁がっております。人吉下球磨消防組合負担金の増額補正は、消防組合の新庁舎移転建設に係る建築基本設計や測量調査が、球磨川流域復興基金交付金の交付対象事業として認められ、消防組合が直接交付金を請求することができないため、交付要項に基づき市において予算措置するものです。人吉市財政調整基金費の増額補正は、熊本地震からの復旧・復興の総仕上げを目

的として、市町村の課題解決のための財源として県から交付される熊本地震復興基金交付金を次年度事業として活用するため財政調整基金へ任意積立を行うものです。

令和6年度一般会計予算を承認

消防費、人吉下球磨消防組合負担金は、高機能消防指令システム整備や本部中央署移転に係る事業費。非常備消防費は、消防団活動及び運営に係る経費です。委員から「現役の消防団員は何名いるのか」との質疑に対して「令和5年10月1日現在で消防団員が299名、女性消防隊が11名、機能別消防団員が30名、防災サポーターが58名の計398名である」との答弁がっております。教育部関係で小学校費では「学校施設劣化状況調査業務委託」は今回新たに行う業務委託です。委員から「調査目的は何か」との質疑に対して「今後検討が始まるであろう学校の再編や統廃合の大きな検討材料の一つとするためである」との答弁がっております。体育施設指定管理料は令和6年度からの電子予約システムと電子式キーボックスの導入費。委員から「電子予約システムとはどのようなものか」との質疑に対して「小中学校の体育施設の予約をスマートフォンからでもできるようになる。鍵は各学校にキーボックスを設置し、予約された方がキーボックスにパスワードを入力して鍵を受け取り、終了後はキーボックスに鍵を返すことになる」との答弁がっております。スポーツパレス小アリーナ特定天井改修工事費は、委員から「改修工事の内容は何か」との質疑に対して「小アリーナが特定天井で、防災対策としてパネルの組み合わせの構造になっているものを、1枚の天井板のようにつくりかえることで補強を行うものである」との答弁がっております。

厚生委員会報告

●委員長 徳川 禎郁 ●副委員長 西 信八郎
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴

条例案件の10件を承認

「人吉市子ども・子育て基本条例の一部を改正する条例の制定について」は、人吉市子ども家庭センターを設置することに伴い、条例の一部を改正するものです。

「人吉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」は、国の指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、介護療養型医療施設が廃止になることや、介護人材の不足等の社会情勢を踏まえた改正によるものです。

他8件の条例改正を承認しました。

令和5年度一般会計等補正予算を承認

「一般会計」、「国民健康保険事業」、「後期高齢者医療」、「介護保険事業」、「水道事業」、「下水道事業」は、いずれも事業費の確定や決算見込額の確定による補正が主なものです。

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施に係る経費について、看護師等の募集の方法が適切であったかなどについて審査しました。

令和6年度一般会計等予算を承認

一般会計予算では、各町内に設置してある防犯灯のLED化及び新設による防犯灯設置工事費及び特定空き家除却工事費について、「特定空き家除却工事費の積算根拠や相続放棄等の問題についての対応は」との質疑に対し「業者見積りを職員が精査して計上している。また、所有者のいな

い特定空き家は市が対応する責任があり、今後、特定空き家や所有者不在の状態とならないよう、事前の指導に努めていきたい」との答弁がありました。

また、生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援などの事業や、住居のない生活困窮者に対し、一時的な宿泊場所や物資などを提供するなど自立を支援する事業などです。

国民健康保険事業では、社会保険の適用拡大や団塊の世代が後期高齢者医療へ移行するなどの被保険者数減少により昨年度より減額となっています。

後期高齢者医療では、後期高齢者医療広域連合からの通知額を基に増額となっています。

介護保険事業では、施設サービスにおいて居住費や食費などを利用する方の負担軽減措置として、所得の低い方へ限度額を超えた部分について給付費が支給されます。

水道事業及び下水道事業には、共に紺屋町や青井被災市街地復興土地区画整理事業に伴う配水管移設等工事費や汚水管渠布設替工事費等が含まれています。



除却(解体)される特定空き家

経済建設委員会報告

●委員長 宮崎 保 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 大塚 則男・本村 令斗・田中 哲

条例及び市道路線の認定を承認

人吉市営住宅条例及び人吉市営単独住宅条例の一部を改正する条例は配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴うものです。

人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例は、統計法第28条の規定に基づき、統計基準として日本標準産業分類を定める件(令和5年総務省告示第256号)が告示されたことに伴い一部を改正するものです。

市道の認定路線は、山田川堤防道路線、紺屋町地内第2号線から紺屋町地内第6号線の6路線を市道として認定するものです。

令和5年度一般会計補正予算を賛成多数で承認

主なものは、畑地化に伴う土地改良区の地区除外決済金182万円。株式会社ランバーやまが導入する木材加工流通施設(機械設備)整備に対する補助金6億7,175万3千円。球磨川くんだりなどに係る地域おこし協力隊3人を募集したが応募者がなかったことによる840万円の減。建設型応急住宅に係る土地使用料の最終見込みによる485万5千円の減。相良地区の災害公営住宅購入費で事業完了に伴う5億696万7千円の減。熊本県による青井地区土地区画整理事業に伴う5,550万円の負担金の増などです。

令和6年度一般会計予算を賛成多数で承認

主なものは、農家振興組合長連絡協議会事務委託料187万7千円。有害鳥獣被害に対し、電気柵等設置に係る費用の一部を助成する有害鳥獣被害対策事業補助金100万

円。最終年度となる下城本地区水路改修工事に1,980万円。有害鳥獣の捕獲に伴う謝礼356万5千円。ふるさと納税業務委託料として2億2,628万5千円。まち・ひと・しごと総合交流館指定管理料2,475万7千円。単独で実施する道路維持補修工事請負費2,000万円。避難路等の道路改修、青井地区無電柱化設計業務委託料5,790万円。東校区地区災害公営住宅購入費18億1,300万円。戸建木造住宅の耐震診断や耐震設計等に対する補助金1,597万3千円。市道や里道及び私道における交通安全対策関係456万円などです。

有害鳥獣被害対策事業補助金については委員から、「鳥獣被害防止総合対策事業補助金は狩猟免許を取得するのはどのくらいの費用がかかるのか。また、狩猟免許を取得した方は何らかの組織に入って実働してもらうのか」の質疑に対して、「銃で約10万円。わなは約4万円かかる。また、この補助を受けられた方については、免許取得後数年間狩猟に従事してもらい、人吉市鳥獣被害対策実施隊に入っただくことになる」との答弁がありました。



青井地区無電柱化設計業務

復興・安全まちづくりに関する特別委員会

●委員長 牛塚 孝浩

●副委員長 平田 清吉

●委員 全議員

第5回の特別委員会は、令和6年2月27日火曜日に開催しました。

今回は、初めに川辺川の流水型ダムの大型模型実験施設を視察し、国土交通省九州地方整備局・川辺川ダム砂防事務所より、緑の流域治水の考えに伴う、上流に対する環境影響や効果と課題について、模型を活用し説明いただきました。委員から流木の対策や環境への影響について質疑があり、多重的な防御など対策についての答弁がっております。2か所目に、市街地の治水安全度の向上を図るため計画された、御溝川二次放水路を視察し、球磨地域振興局土木部より工事の進捗状況や、令和7年度運用開始について説明を受けました。3か所目は、球磨川の河道掘削に採用されている、水陸両用建設機械について施工現場にて視察を行い、国土交通省地方整備局・八代河川国道事務所より、試験施工の概要や効果、他での施工事例などについて説明いただきました。

次に中川原公園及び人吉城跡公園の今後の利活用について、両公園の未来を語る会で配布した資料を基に、内容や成果について説明を受け、整備コンセプトや整備方針、今後の整備プラン、今後検討が必要な整備内容や「かわまちづくり協議会」で実施される予定の社会実験などと、次年度以降の課題について説明いただきました。委員からは、中川原公園のトイレや駐車場の整備方法、利用者のマナーについての質疑や、公園を掘削したことで城跡の石垣に影響はないのか、市民

から良い意見が出て河川管理者の判断になるのか、など多くの質疑があり、社会実験をしてご意見を頂きながら進めたい、国土交通省や熊本大学の協力のもと、様々なシミュレーションで検討いただいた結果、石垣には影響は出ない。基本的に工事の時は全部を協議しながら判断していただく。どのように使っていただくか、専門家や有識者で構成するデザイン会議等の意見を取り入れながら、社会実験を通して民間の方も一緒に方向性を作り上げたいと答弁がありました。

次に、人吉市復興まちづくり計画の進捗について、青井地区、中心市街地地区について、都市再生整備計画区域での範囲の変更や、かわまちづくり計画に基づく中心市街地地区と青井地区の、一体的な取組について説明がありました。その他、事業計画変更案に対する意見書や、宅地及び区画道路の早期着工計画などについて、詳しく説明がありました。



川辺川の流水型ダム大型模型実験施設

議会運営委員会行政視察報告

●委員長 大塚 則男

●副委員長 平田 清吉

●委員 松村 太・徳川 禎郁・宮崎 保・井上 光浩・本村 令斗・田中 哲

日程：令和6年1月23日（火）～25日（木）

視察先：長崎県諫早市

項目①：予算決算委員会について

内容：諫早市では、議員から、予算を審査した議員が決算を審査するという一連の流れを作ることで、予算・決算審査の充実が図られるのではないかという意見があり、平成22年に常任委員会として予算決算委員会を新たに設置されました。

審査方法については、既存の常任委員会を「分科会」として位置づけ、審査を分担して行う「分科会方式」で審査をされています。

まとめ：本市議会では、予算は予算委員会で審査し、決算は、決算特別委員会を設置し審査しています。今回の視察を参考に、予算・決算審査のあり方を調査研究してまいります。

項目②：タブレット端末の運用について

内容：諫早市での導入の目的は、①市民の議会への関心の向上と参加機会の拡大、②議員の政策立案能力・発信力の向上、③議会事務の効率化・省力化などがあります。また、議員活動時の活用としては、行政視察等で他市との各種計画の比較が容易になることや、市民へ議案等の説明の際に使用できることなどがあります。

まとめ：本市議会でもタブレットを導入し、令和6年3月定例会から使用しています。今回の視察で学んだことを参考に、議員活動がより充実するよう活用を拡大していきます。

視察先：広島県三次市

項目①：予算決算常任委員会について

内容：三次市では、平成24年に予算決算常任委員会を設置されています。常任委員会になったことでのメリットは、全員が委員になることで自分の属する常任委員会以外のことも審査できることや、予算を審査した議員が決算を審査できるとともに、決算審査の結果を次の予算に反映しやすくなるなどがあります。一方、デメリットとしては、細かい中身の審査が難しいことや、予算審査に要する日程が長くなることなどありました。

まとめ：今回の視察を参考に、委員会編成や審査資料も含めた予算・決算審査のあり方を調査研究してまいります。

項目②：高校生との意見交換会について

内容：三次市では、高校生との意見交換会を行っています。議員とはどのような仕事なのか等を身近に感じてもらうことで政治（議会）への距離を少しでも縮めて欲しいとの思いから始められました。

市内3校の県立高校と意見交換会を実施されています。

まとめ：本市議会でも、若者から、新しい発想、意見を聴取するためにも、また、政治参加意識を育むことから主権者教育として高校生との意見交換会を検討していきたいと考えています。

一般質問 ～市政を問う～



一般質問
通告書は
こちらから

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画画像がご覧いただけます。

QRコードは(株)テンソーウェブの登録商標です

災害公営住宅入居状況・敷金について



大塚 則男



動画視聴

問 相良地区災害公営住宅の入居者数と東校区地区災害公営住宅の入居希望者数は。また、一般公募はいつからか。

答 相良地区の入居者は118世帯、東校区地区の入居希望者は35世帯である。一般公募は、まず被災者の方を対象に募集を行い、その後一般の方の入居申込みを予定。

問 災害公営住宅の敷金について市営住宅条例に免除や徴収猶予の条文があるが適用できなかったのか。

答 災害公営住宅は、人吉市営住宅条例の第16条に特別の事情がある場合において敷金の減免又は徴収の猶予を行うことができる。とあり相良地区の災害公営住宅でも減免申請書を渡していた。今後も敷金について相談があった際は減免や徴収の猶予を検討してまいりたい。

ダムの効果は限定的 他



本村 令斗



動画視聴

問 宮本博司元国交省防災課長は講演で、「雨が少ないときは、ダムがなくても安全。計画よりも大きな雨が降り、ダムが満杯になれば危険で、緊急放流で効果はない」と言われた。ダムの効果は限定的だと認識すべきではないか。

答 緊急放流の指摘は、ダムがない場合に比べ、安全に避難できる時間を確保できると認識している。

問 介護職員の不足を少しでも解消するため、初任者研修の費用への補助を行うべきではないか。

答 介護職員の不足は、喫緊の課題だと考えている。関係機関と連携を図りながら検討を進めたい。人吉東小学校の昇降口で、床や靴が濡れることに対策すべきでは。

答 まずは雨漏り対策を行い、施工工事等、適切な対応を検討したい。

今後の人吉球磨の広域連携について



池田 芳隆



動画視聴

問 市町村合併の現状は。

答 球磨郡町村と合併に向けた具体的な協議などの動きはない。しかし、人吉球磨全体の活性化を図り、持続可能な地域を作るため、様々な分野で連携し、圏域市町村が一体となった取り組みを進める「人吉球磨定住自立圏」を平成27年1月から圏域10市町村により形成している。

問 市長は市町村合併についてどのように考えているか。

答 合併は、避けて通れないテーマ。人吉球磨は一体であるとの意識から前向きな考えを持っている。まずは球磨郡町村と常日頃から強固な信頼関係を構築し、合併に向けた機運の醸成など、そこに至るまでの環境づくりを丁寧に重ねていくことが重要と考える。

一般質問 ～市政を問う～

介護予防事業について



川上 紗智子



動画視聴

問 要介護状態の発生をできる限り防ぐ、発生の時期を遅らせる、状態悪化を防ぐ、さらには軽減を目指すための介護予防事業とは何か。

答 介護予防・生活支援サービス事業は、要支援認定者と基本チェックリストでの該当者を対象とし、訪問型サービスと通所型サービス（送迎あり）がある。基本チェックリスト該当者のみが最長で6か月利用できる短期集中予防サービスもある。また65歳以上の全ての高齢者を対象に一般介護予防事業を実施。主なものは、公民館で実施するデイサロンや朝デイがある。

問 送迎があればデイサロンに参加できるのにといい声があるが。

答 デイサロンは、会場へ通える人が対象。通えなくなった場合は、他のサービス利用につないでいる。

市営住宅連帯保証人について

他



豊永 貞夫



動画視聴

問 国は「公営住宅入居の際、連帯保証人の確保が困難であることを理由に、入居できない事態が生じないように」としているが、民間保証会社導入や、連帯保証人廃止も含めて検討すべきだと思ふが。

答 市営単独住宅では、身元引受人、または緊急連絡が取れる方の記載で入居の対応をしている。民間保証会社や廃止については、条例改正や、効果など課題を整理したい。

問 定期的に流行する流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、難聴や無菌性髄膜炎などの合併症を引き起こすことがある。予防ワクチンへの公費助成の考えは。

答 公費助成自治体が少ないことから、他自治体の動向を注視し、ワクチン開発による定期接種化に期待したい。

災害危機管理について



田中 哲



動画視聴

問 能登半島地震の被害状況を踏まえ、市の「業務継続計画」（BCP）は令和2年の豪雨災害時にどう機能したか。見直しの考えは。

答 全ての業務が薄氷を踏むような状況で、一步違えば業務に大きな影響が出る状況だった。今後実効性があるよう見直しに努めたい。

問 上水道に「事業継続計画」は策定しているのか。区画整理事業が進行中の青井地区・中心市街地区に大型の防火水槽設置の考えは。

答 上水道の「事業継続計画」は早い時期に策定する計画。防火水槽の設置は、場所や規模、構造等に関係各課で協議したい。

問 豪雨災害時の上下水道の被害は。

答 上水道で9か所、下水道で1233件被害が出た。発災から順次復旧を行い、令和6年2月で完了。



一般質問
通告書は
こちらから

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画画像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

福祉における助成事業等について他



徳川 禎郁



動画視聴

問 介護保険での住宅改修費や福祉用具購入費、市外医療機関等を受診した子ども医療費、ひとり親家庭等医療費、重度心身障害者医療費等、受給者が全額支払後に申請する償還払いとなっているが、初めから自己負担のみを支払う受領委任払いとする考えは。

答 申請件数や医療DXの動向等、総合的に検証し優先順位を付けて行ってまいりたい。

問 小・中学校のトイレへの生理用品の常備について、前回の一般質問後、協議はなされたか。

答 市内校長会、学校保健担当者会と協議を重ねた。今後、校内で情報共有を行い、子どもへの周知、指導を経て順次設置予定。

※その他、市営住宅条例改正及び入居資格要件緩和について質した。

上下水道災害時対応とマイナカード活用例



牛塚 孝浩



動画視聴

問 いつ、どこで、どのような災害が発生するか分からない。上下水道の復旧計画の策定状況は。

答 上水道事業では人吉市地域防災計画をはじめ、水安全計画を基本に各種マニュアルを整備し対応。公共下水道事業でも地域防災計画及び市公共下水道BCP計画を基本に対応する。

問 本市及び圏域や県内で、マイナンバーカードを保険証として利用できる医療機関等の割合は。

答 令和6年1月末現在、人吉市内で92・1%、球磨郡で94・2%、県全体では92・7%で利用できる。

問 給付金等の交付にあたり、ひも付けされた口座が活用されない理由は。

答 手続きの確実性を図るためにひも付け情報の活用は行っていない。

こども家庭センターと人口減少の課題 他



松村 太



動画視聴

問 学校と児童育成支援・親子関係形成支援の連携はできているか。

答 こども家庭センターでは母子保健、児童福祉、教育関係の各部門の専門職が一体的に支援していく。

問 減少していく児童生徒数に応じた学習環境の整備への対応は。

答 児童生徒の教育を第一に、様々な声を聞きながら、校区の弾力化等、将来を見据えた具体的な検討を始める時期と考えている。

問 人口減少及び生産年齢と高齢者世代の逆転が本市に及ぼす影響は。

答 一人の高齢者を一人の現役世代が支える肩車社会が招く、社会保障費用等の増加。税收減による活力低下、公的サービスの低下等。

問 庁舎に案内係を配置できないか。

答 呼び出しベルの設置など、利用者視点に立った対策を検討する。

… 令和6年1月臨時会の議案等の議決結果 …

番号	件名	議決結果
議第1号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第10号)	原案可決

… 令和6年3月定例会の議案等の議決結果 …

番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
議第2号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	議第25号	人吉市カルチャーパレス条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第3号	令和5年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第26号	人吉市子ども・子育て基本条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第4号	令和5年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第27号	人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第5号	令和5年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決			
議第6号	令和5年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第28号	人吉市老人福祉センター条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第7号	令和5年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	議第29号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第8号	令和5年度 人吉市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第30号	人吉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第9号	令和6年度 人吉市一般会計予算	原案可決			
議第10号	令和6年度 人吉市球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決	議第31号	人吉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第11号	令和6年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決			
議第12号	令和6年度 人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	議第32号	人吉市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第13号	令和6年度 人吉市介護保険特別会計予算	原案可決			
議第14号	令和6年度 人吉市水道事業特別会計予算	原案可決	議第33号	人吉市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第15号	令和6年度 人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決			
議第16号	令和6年度 人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決	議第34号	人吉市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第17号	令和6年度 人吉市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	議第35号	人吉市水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第18号	人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第36号	人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
			議第37号	人吉市営住宅条例及び人吉市営単独住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第19号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第38号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決
議第20号	人吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第39号	市道路線の認定について	原案可決
議第21号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第40号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第22号	人吉市地域公共交通会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第41号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第23号	人吉市民民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第42号	副市長の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第24号	人吉市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第43号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	選任同意

… 令和6年3月定例会の請願・陳情等の議決結果 …

付託委員会	件名	議決結果
経済建設委員会	九日町・大工町の災害公営住宅の建設に関する陳情書	不採択

議員別表決

… 「表決が割れた」 議案とその議員別表決 …

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議案	議員氏名																
		川上 紗智子	松村 太	徳川 禎郁	池田 芳隆	牛塚 孝浩	宮崎 保	大塚 則男	平田 清吉	井上 光浩	豊永 卓夫	西 信八郎	村上 恵一	本村 令斗	田中 哲	福屋 法晴	宮原 将志	
議第2号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第11号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	令和6年度 人吉市一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 /：議長は表決に加わりません



市民と議会の意見交換会



厚生委員会（委員長：徳川禎郁 副委員長：西信八郎）は2つの団体と意見交換会を実施しました。

人吉市老人クラブ連合会との意見交換会

日 時：令和6年1月12日（金）
午前10時～正午
場 所：人吉市役所 4階 議会会議室
テーマ：持続可能な人吉市老人クラブ連合会のあり方について



こんな意見がありました

- ・会員の方々が高齢化している。役員不足。
- ・入会希望者が、まだ働きたいので参加できないとの意見がある。
- ・各町内会において、老人会に入会して頂くようお願いしてほしい。
- ・老人会に登録していなければ参加できない行事（市主催行事の大会）やそれ以外の活動に、市本部に個人で登録していただくことで参加ができますよと、1つの道を少しでも広げて、老人会活動に参加しやすくしたい。
- ・委員会として行政と相談しながら取り組んでいきたい。

人吉市医師会との意見交換会

日 時：令和6年2月1日（木）
午後7時～午後8時
場 所：医師会館 会議室
テーマ：人吉球磨准看護学院の現状と看護師不足について、他



こんな意見がありました

- ・県域外からの学生に対する寮の確保。
- ・変化する学生数に対応可能な補助金の柔軟な支給体制の確保。
- ・運営状況の透明性の確保のために、今後、協議会を設置して行政と協議していきたい。
- ・ふるさと納税の使用目的の項目に、人吉球磨准看護学院運営への助成も入れて欲しい。
- ・喫緊の課題である地域の周産期医療の体制強化については、助産師育成が大変重要。
- ・ふるさと納税の使用目的に地域医療の充実を設けることについては、ぜひ必要であり議会としても、本市に強く働きかけていくべきと考える。
- ・県域外からの学生に対する寮の確保の実現については、市営団地の空き室の利用なども含め早急に対応できるように、執行部に働きかけるべきと考える。

※意見交換会の詳細はホームページでご覧いただけます。また、意見交換会の申し込みは随時受付しています。

老人クラブ連合会 →



人吉市医師会 →



意見交換会の
申し込み →



令和5年度 議会報告会 及び 意見交換会を開催しました

開催日時：令和6年2月3日（土）午後2時 開催場所：東西コミュニティセンター



人吉市議会では、市民の皆様に対し日頃の議会活動の状況を報告するため、今回11回目となる「人吉市議会報告会及び意見交換会」を開催しました。コロナ禍の影響で中断していたため4年ぶりの開催でしたが、約40名の方にご参加いただきました。今回は、各委員会に分かれてグループ意見交換を行い、活発な質疑応答が行われました。会場でいただいた貴重なご意見やご要望は、今後の議会活動の参考とさせていただきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

会場でいただいたご意見・ご要望（アンケート含む）

- 今回、グループで意見交換ができて大変良かったが、もう少し時間があつたら良いのではと思った。
 - 直接意見ができる場所で良いと思う。
 - 年2回くらい開催してほしい。
 - 対面で話を聞けてよかった。
 - 有言実行をぜひ、一日一日を大事に、実績を残す活動を望む。
 - 身近な悩みが聞けて良かった。
 - 校区外の議員の反応がいちだった。
 - 市議の皆さんと意見交換ができてよかった。
 - 委員会の再編成も検討課題にしてほしい。
 - 委員会ごとのグループ意見交換の時に、隣のグループの声が聞こえたので、テーブルをもっと離して設置したほうが良い。または、別室でしたほうが良い。
 - 委員会の報告はこれまでと同じで、必要な時間と思えなかつた。
 - レジメによつての進行・順序が分かりにくかつた。
 - グループ意見交換で設定されたテーマが狭い。
 - このような市民の声を聴く会をもっと多く開いてほしい。
 - 意見交換する機会を年数回開催してほしい。
 - 市と議会は同じ意見よりも、戦わせより良い市政を望む。
 - 団体は代表者のみの参加にしないと一般市民の意見が出にくい。
 - 議会運営が市の実力者中心となつている。市議個人の意見をもっと率直に活発に行うべきである。
 - 午後4時までは時間が少ないので、午後5時までお願ひしたい。
- ※他にも様々にご意見等をいただきました。

編集後記

SDGs推進と議会のIT化とペーパーレス化を目的として、人吉市議会にタブレット端末が導入され、3月定例会から本格運用を開始しました。

導入当初は、操作方法などに戸惑う場面が多くありましたが、現在では全員スムーズに使いこなせるようになりました。また、各種連絡や通知等を郵送物に頼ることなく、リアルタイムでメッセージやファイルを送受信し情報交換ができるアプリケーションも導入しております。

今後とも、タブレット端末のさらなる活用を検討し、議会のデジタル化による効率的かつ円滑な議会運営を推進していきます。

※議会傍聴者の皆様にはこれまで同様、紙資料を配布いたします。

表紙写真・文責…

村上 恵一

次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／宮原 将志 副委員長／福屋 法晴
委員／松村 太・池田 芳隆・井上 光浩・村上 恵一・本村 令斗・田中 哲